

会 議 記 録 (概要)

会 議 名	令和3年度第2回三田市立図書館運営評価委員会
日 時	令和3年3月28日(月) 18時00分から19時35分
場 所	三田市立図書館コミュニティホール
出席委員	馬込委員長、有川副委員長、井上委員、尾上委員、佐藤委員、富岡委員
指定管理者	図書館流通センター関西支社 岸本、江崎、東図書館長、橋上分館長
事 務 局	甲斐地域創生部長 曾根市民協働室長 (以下、部・室名を省略) 横溝文化スポーツ課長、森鼻係長、山本
傍 聴 者	1人
添 付 資 料	次第、資料1～3

会議概要

1 開会

会議の招集・成立について

定員の過半数を超える出席につき成立

2 あいさつ

地域創生部長あいさつ

3 前回の振り返り

館長

- ・電子図書館の普及について、小学校、中学校において、全生徒にタブレットが配布されていることから、このタブレットから簡単に電子図書館を利用できるように仕組みを整えようと準備を進めている。まずは、小学校1校で試行し、その結果により、三田市の全小中学校への拡大を想定。これにより利用の少ない中学生への周知にもつながると考えている。
- ・2点目、市役所窓口における相談時に参考となるブックリストを配布することで、生活のなかで図書館を役立てることにつながられるのではないかとのご提案をいただいた。まずは、障害福祉課の窓口で配布することを想定し、障害福祉課の相談員さんともリストの内容について相談しながら作成した。今後、他の相談窓口にも拡大していきたい。
- ・3点目、学習席の利用者をいかに書架に導くかの課題について、学習席近くにミニ展示を行った。「目指す未来のために」「受験生・就活生応援」の展示は貸出しも多く好評。

委員長：図書館の向かう方向性が2手に分かれていると感じる。三田市では従来の知の集積、人と人をつなぐハブとしての図書館として進めていただいている。

一方で和歌山市ではカフェのような賑わいの場を目指しているようだ。どちら
も間違いではなく、社会教育施設としての図書館をどう考えていくか、それを
どのように合わせて考えていくかが大事なのではないかと。皆さんの忌憚のない
ご意見が、良い方向性を導くと考えている。

報告を聞いてどう思われたか。

委員：早速行動に移されていて素晴らしい。子どもたちが持っているタブレットを活用
してほしい。

委員：子どもは端末を使いこなすので利用してほしい。

委員：実施までには壁もあるが、子どもたちの読書環境をいろいろと構築したい。

委員長：授業でも活用できると良い。

委員：電子図書館は返却日が分かりにくいのではないかと、返す日を学校の先生が把握で
きるのか。

館長：期限が来ると自動的に返却されるシステムになっている。

副委員長：ブックリストがよくできている。困っている人の指標になると思う。困っ
ている人が図書館に行こうと思えば、図書館に行って自力で本を探すのは容易で
はないし、図書館としても困っている人に必要な資料を届けるのは、声をか
けてもらわない限り難しいと思うので、ぜひ活用いただきたい。図書館内
ではなく、困っている人のいる現場で届けられるのが素晴らしい。

事務局：ブックリストは、障害福祉課と相談しながら、図書館で作成した。実際にどの
ような相談が多いかということを取り、それに基づきリスト化している。
まだ配布をはじめて一月なので反応はこれからだと思われる。

委員長：放課後児童クラブなど、アウトリーチでも活用できるのではないかと。取り組み
をつづけていただくようよろしくお願いいたします。

4 報告事項

(1) 令和3年度事業について

館長：資料2により説明

委員：幅広く活動されていて効果も出ていると思う。参加者0のイベントの理由は何か。

館長：お話し会と電子図書館の講座である。お話し会はコロナの影響もあった。電子図書館
の講座については、電子図書館の利用方法の問い合わせが多くあることから企画
しているが、講座となると難しく思われたのかもしないかと、小規模の開催や
個別対応も検討している。

委員：広報はどうしているか。開催を知っていれば参加するという方はいるのではない
か。

分館長：広報さんだと図書館だよりである。

館長：コロナで中止したロボット講座なども0となっているが、後日、別日に開催した。

委員：多くの行事を開催されていて人数もそれなりに来られていると思う。図書館に
来られない人に来てもらうにはどうしたらいいか考えたい。

委員：たくさんのトライ&エラーをされていて素晴らしい。ネット予約は高齢者のいる
家庭にとっては便利と聞いている。高齢者が読みたい本をネット予約し、用意で
きれば家族が取りに行くということが出来る。障害者が家族にいる家庭にとっ
ても有効だと思う。ブックリストにもネット予約の案内を載せてはどうか。

明石市の図書館は賑わいの図書館を目指しておられると思う。同じ施設内に中高生のためのユースプラザがあるなど、様々な機能が集中している。三田市はそれぞれの地域の生活圏の中で発展させていくというコンセプトにより、最大限取り組んでおられる印象を持っている。

委員：パスファインダーや施設見学も学校連携の取り組みで充実を図っていただいている。学校司書の資質向上を目的とした研修会も図書館で開催していただいた。電子図書館の充実と子どもたちのタブレット活用も引き続き取り組んでいただきたい。電子図書館の案内を全小学校にさせていただいたのも効果があったので続けていただきたい。

副委員長：調べる学習コンクールの応募件数が少しもどってきており、全国コンクールでも活躍されていて嬉しい。調べる学習の成果を生かすべく、郷土史研究家のコーナーを設けられたのは良いことだと思う。

ビジネス支援コーナーを設けられているが、先ほどの障害福祉課の連携と同様に、コーナーを設けるだけでなく、市の起業支援を行う部署と連携すると良いのではないかと考える。

委員長：「連携」がキーワードになる。先のブックリストや学校との連携も広げていきたい。生涯学習の分野では健やか育成課の「こうみん未来塾」を大人向けに開催するといった連携もおもしろい。野外活動センターで「森の図書館」ならぬ「川の図書館」「山の」「田園の」といった市内のいろんな環境で本が読めるという取り組みも面白いと思う。ビジネス支援で言うと、商工会がすでに実施している起業支援の取り組みとの連携も考えられる。賑わいというのは「集積」だが、集積だけでなく、市役所窓口との連携、商工会との連携、学校との連携など図書館がハブとなり「面」で取り組む考えを持ってほしい。

委員：雑誌のリサイクル希望者は多いのか。

館長：1月の雑誌リサイクルでは100人並ばれた。雑誌と書籍を分けて分散して1月と3月に行った。

委員：雑誌を図書館に置くことについては議論があるが、希望者が多いことは認識した。

委員長：雑誌も世相を表す資料と言えるが、図書館に並べるとすれば本と雑誌をどの比率でというのは議論のあるところと思う。

(2) 利用者アンケート、未利用者アンケートの結果について

館長：資料3「利用者アンケート」に基づき説明
時間のない方にもお答えいただけるよう新たにWEBアンケートを実施した。

館長：資料3「未利用者アンケート」に基づき説明
20、30代の回答が多かった。

委員：電子図書館の使い方講座について予約枠5名となっているが、少ないのではないか。

館長：マンツーマンでの案内を考えている。申込が増えれば対応を考える必要がある。

委員：書架にある本を予約しても、すぐに用意できないことがあるのは何故か。

分館長：受取館に運送する場合日数がかかる。その他、所定の位置に本がない場合等、期間を要することもある。

委員：蔵書は本館が多いが、本館とウッディで借りられる本の分析は。

分館長：ウッディは子ども向けが多い。

委員：分析に合わせて蔵書に移すなどはしているのか

館長：全部ではないが部分的に行っている。

委員：来館手段の分析は。

事務局：分館は、ウッディタウンの中央にあるので、徒歩でも行きやすい。本館に比べて徒歩や自転車が多くなっていると思う。

委員：子どもたちも歩いて行ける。図書館は校区外でも行ってよいことになっている。本館は周囲の小学校から歩いていきにくい立地にあるので、土日に家の人と利用するという使い方が多いと思う。電子図書館の活用が対策になる。

副委員長：読書通帳やマイナンバーの認知度が低い、読書通帳などに興味が行くのは低年齢の層だと思う。マイナンバーカードを図書館カードとして利用することに関しては、案内は必要だが本来的な図書館業務の範疇ではないと思う。新刊購入や複本の扱いは、従来から図書館が抱える課題。電子図書館でもサブスク契約が出てきているのでそれをどう取り入れていくのか、本館と分館の役割分担なども検討していく必要がある。

委員長：福井県立図書館のレファレンス事例集「100万回死んだねこ～覚え違いタイトル集」のように、「新刊本がない」ではなく「昔の本でもこんなにおもしろい本がある」といったことをツイッター等で発信するというのも図書館ならではの取組となるのではないか。

(3) 令和3年度下半期の事務局モニタリングについて

事務局：次第に基づき説明

委員長：「適正」とのことだが、もっと高く評価されても良いと思うが、A評価に近い点数には指定管理者の頑張りが反映されている。

(4) 施設修繕について

事務局：令和3年度下半期に屋根外壁の大規模改修を実施した。

5 その他

事務局：モニタリング評価シートの提出を依頼。

委員長：総括として、三田市立図書館は派手さはないが、生活に根付いており、実力があることがわかった。利用者の知識を広げる取り組みができています。面をつなげる図書館をめざし今後もがんばっていただきたい。本日の意見にどのようなレスポンスを返していただけるのか楽しみにしています。

<19時35分閉会>